9月6日出) 研究発表第4室(16号館305)

The Study of Loan Words in English for Specific Purposes (ESP) and Multi-Cultural Context:

- Loanwords in the Fields of Nursing and Social Welfare -

専門英語教育(ESP)から見た文化の多様性に伴う外来語研究 ----老人看護と福祉分野の場合----

斉藤早苗1 1 神田外語大学外国語学部 渡邊容子2

2 群馬県立医療短期大学

キーワード:外来語,言語同化現象,文脈的意味 (contextual meaning), 文化の多様性

1。背景

社会の急速な変様は国際間の距離や時間への意識を変え教育、とりわけ英語教育においても影響を及ぼし、多角的なアプローチが今求められている。中でも専門分野では始終新しい言葉、情報、現象、物を表現したり理解しコミュニケーションしなければならないという実状がある。故に専門分野の英語教育に対する意識を高めた授業展開を目指していかなければならない。

本研究では主眼点を英語教育の視点から、現代日本社会を反映しているカタカナ語(和製英語も含む)に置く。メディアや専門分野に急増するカタカナ語はいわゆる多様な文化の中で生まれたPidginのような英語のリングワフランカ的現象と見る。教育現場においてこのカタカナ語が及ぼす影響は大きく、専門家や学習者が英語をより確実に理解しコミュニケーションすることを目指すならば極めて重要なポイントと考える。そこで社会の要求が高まっている専門分野での英語(ESP)をより的確に教えるため一考察を提案したい。

2。 研究の目的

研究目的は老人看護と福祉に関連する外来語専門用語の述語学とその背景を英語教育の視点から探ることである。 語学教師としての立場からここでの基礎研究は外来語研究の文献を中心に、外来語の元の意味と実際に使用されている上での意味の比較、つまり使用法の相違点と相似点を比較分析した。

分析結果を基に英語を理解し実際に使用する際の外来語が学習者に及ぼす問題 点、さらに専門分野での英語教授の今後の方向性を検討したい。

3。 研究方法

使用頻度の高い外来語を調べるために1995年と1996年度出版の8冊の季刊誌「エイジング」を対象専門雑誌として使用した。 始めにカタカナ表記の全ての語彙を数え、その延べ語数は6594語であった。 そのうち6語の最多使用頻度語と1語の複合語を選び外来語の特徴とその背後に考えられる文化

9月6日出 研究発表第4室(16号館305)

の多様性とそれに伴って多様化していいく英語教育について分析考察した。

4。 分析結果と考察

4-1. 分析 (例)

- ◆1995年、1996年度の最多使用頻度のカタカナ語:
 - サービス 2. ポランティア 3. システム 4. センター 5. ホーム (*1996年度では 5番目に「シングル」が入っている。)
- ◆ <u>使用頻度の高い複合語</u> シルバ-エイジ、シルバーサービス、、シルバーライフ
- ◆<u>上記の結果を基に分類したカタカナ語の3つのタイプ:</u>
 - 1) 英日において意味を保つもの 2) 単に英語では意味を成さないもの
 - 3) まったく源語の元の意味とは異なった意味を持つもの

4-2. 研究結果と考察:

- 1。最多使用頻度の高い外来語は英語から直接に借用され、6語の最多使用語のうち4語は英語の元の意味を残すが、日本語干渉からある限定的意味を伴う。
- 2。外来専門用語はカタカナで表記されることにより元の意味が失われ不正確なニュアンスを専門家に植え付ける可能性がある。そのため学習者自身の理解に障害をもたらし、また実際にネイティブスピーカーと話す時など誤解が生じ得るという問題が考えられる。ここで注意しなければならないタイプは3つ目のタイプである。上記にある「シルバー」が示すように源語とは異質の言葉として捉えてしまい誤った概念を植え付けてしまう。文脈的意味 'contextual meanings' で理解することの重要性を専門家だけでなく学習者が認識できるような教育の方向性を見い出す必要がある。
- 3。総括的に研究対象となった 7 語は現在の日本の社会的必要性を如実に表し 高齢化社会における施設改善と高齢者の生活の質の向上を裏に示唆してい る。 つまり教材面においても社会のニーズに対応してこれらに関連したト ピックが一層扱われるようになる。

5。今後の課題

言葉の変化に直面して、学習者が異なった言語の文化を受容できるような態度、価値観を育成することが再認識される。 言葉が常に流入する専門分野において総括的な言語使用に対する専門家の意識の喚起と専門的知識と深層の源語の意味を表す用語の正確な使用と理解がさらに必要となってくる。 英語と母国語が入り交じる中、新しい意味でのバイリンガルが生まれて来るであろう。 その意味で言葉を文脈的意味で捉える語学力を更に養成しなければならない。 語学教師は専門家、またはそれを目指す学習者との一体によって英語のみならず母国語の理解と語感の育生を包括的に目指した言語教育環境を創りあげていかなければならない。

9月6日出 研究発表第4室(16号館305)

Table 1: THE FIVE WORDS MOST FREQUENTLY USED IN AGING

Year	Ranking	Loan Words &	English	Frequecy of Use
1995	1	サービス	service	222
	2	ボランティア	volunteer	112
	3	システム	system	88
	4	センター	center	87
	5	ホーム	home	48
1996	1	サービス	service	224
	2	ボランティア	volunteer	102
	3	システム	system	65
	4	センター	center	52
	5	*シングル	single	40
	5	*シングル	single	40

Table 2: DOMINANT WORDS IN 1996 AND HOW THEY ARE USED IN AGING

English definitions	How they are used in contex
 ★ single 1. one only 2. without another/others 3. characteristic of unmarried 4. unmarried 	- ビッグシングルエイジ - シングルできた人 - シングルに目覚めた人 - シングルとして生きる (both young and elderly persons living alone) - カップルの中のシングル性
 ★ service 1. work / duty performed for another /others 2. a system / method of providing people with the use of something 3. benefit /advantage 	 在宅/施設サービスにおいて 在宅福祉サービス 高齢者ケアーサービス ヘルプサービス ケアーサービスをプロバイドする

9月6日出 研究発表第4室(16号館305)

Table 3: COMPOUNDS FREQUENTLY USED IN AGING

English Japanized & Katakana	English definitions
★シルバーエイジ -シルバーサービス	* having the color or
-シルバーヘルスプラン	luster of silver
-シルバーライフ	

- ★ Silver Age: 1. Gr. & Rom. Myth. the second age of the world, inferior to the earlier Golden Age
 - 2. Any period of progress, prosperity of a lesser degree than that of a corresponding golden age

Table 4: MOST MISLEADING ENGLISH WORDS INFLUENCED BY LOAN WORDS

Table 4. Mool P	I DEED IN O BRODION	WORDO THE DODING DE DONN WORDO			
English	Japanese	English definitions			
1. center	*福祉センター	*welfare center			
2. service	*介護福祉サービス	*careing welfare service			
	*ホームヘルプ	*actions or systems which			
	サービス	offer beneficial effects to			
		the elderly			
	*サービス料				
3. care	*在宅ケアー	*home care			
4. help	*ヘルパーさん	*a helper, esp. hired helper			
		as a domestic servant			
		*the act of helping			
(helper)		<pre>*a person/thing that helps,</pre>			
		esp. an assisting worker			
		who is more or less unskilled			
5. home	* ホーム	*a place where medical care			
		for the elderly is provided			

REFERENCES

Eijingu Sogo Kenkyu Senta(エイジング総合研究センター):エイジングAGING Vol.12 No.4, Vol.13 No.1, Vol.13 No.2, Vol.13 No.3, in 1995, Vol.13 No.4, Vol.14 No.1, Vol.14 No.2, Vol.14 No.3, in 1996 Hatch, E. & Brown, C. (1995): Vocabulary, Semantics, and Language Education, pp 170 - 216. Cambridge University Press, Cambridge (UK) Toyama, S. (1993): Japanese Language in society (社会の中の日本語), Culture and Linguistic Points (文化と言語観)49-79, 大修館書店,東京. Umegaki, M., Ai (1963): A Study of Japanese Loan Words (日本外来語の研究), The first edition, 3-23, Kenkyusha Pub. Ltd. (研究社出版株式会社), Tokyo